

課題対応取組報告書

【共通】

名称	花乃井総合相談窓口（ランチ）						
提出日	令和	7	年	6	月	16	日

カテゴリー （※主なものをひとつチェック）	<input type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等 <input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 社会資源の創設（居場所づくり等） <input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
活動テーマ	高齢者の参加と孤立予防、早期に相談につながるための取り組み	
地域ケア会議から 見えてきた課題	【孤立する高齢者の課題】 独居、後期高齢者、認知症が重なると生活に支障をきたしてくる。 オートロックマンションが多く、地域とのつながりが希薄であったり、孤立している。	
対象	花乃井地域在住の高齢者	
地域特性	大阪市内では高齢化率が最も低い区であるが、近年、西区に転入する高齢者が増加傾向にある。 マンションは匿名性が高く、住民同士のつながりが形成されにくいいため、高齢者が孤立しやすい状況にある。加えて、 区外から転入した高齢者や地域に馴染みのない高齢者は、閉じこもりや認知症が進行しやすい状況にある。	
活動目標	● 高齢者の参加の場、高齢者同士の交流から孤立予防や生きがいづくりの機会をつくる ● 高齢者とランチ職員が交流する機会をつくり、総合相談窓口の周知や、課題の早期発見につなげる ● 活動内容に独自性を見出し、参加意欲の向上を目指す	
活動内容 （具体的取組）	・毎週火曜日10時～11時に開催 ・いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操、その他、簡単な脳トレやオリジナル体操を実施 ・保健福祉センターのリハビリテーション専門職派遣（年1回） ・ランチ伝言板を配布し、総合相談窓口の周知	
成果 （根拠となる資料等が あれば添付すること）	・毎回15名程度が参加、年間延べ804名が参加 ・参加意欲の維持・向上のため、百歳体操の後にオリジナル体操の実施と、保健福祉センターのリハビリテーション専門職派遣による測定会を実施（4/16） ・高齢者が主体的に関わることができるよう、ランチ職員と一緒にオリジナル体操を作成 ・活動の前後に簡易な相談があり、早期介入のきっかけとなっている	
今後の課題	・高齢者が主体的に関わることができる内容を検討する ・引き続き参加意欲を維持するしくみを検討し、継続した参加を促す	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和 年 月 日（ ）	
専門性等の該当 （※該当個数は問わない）	<input type="checkbox"/> 地域性 <input type="checkbox"/> 継続性 <input type="checkbox"/> 浸透性・拡張性 <input type="checkbox"/> 専門性 <input type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目（特性） についてのコメント	* 今後の取組継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。	